

令和2年度事業報告について

令和2年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」、令和2年度第1次・第2次・3次補正予算の効果とも相まって、持ち直しの動きがみられる。他方、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばである。

そうした中、当協会は、令和2年度も下記のとおり定時社員総会1回及び、通常理事会2回を開催した。また、基幹的分野である業務、海務及び労務の3専門分野を中心とする委員会活動等も中止を余儀なくされた。

船員採用問題等検討委員会、その広報ワーキング、図書ワーキングについては以下の通り開催し船員採用促進に向けた活動を行った。

1. 会務運営上開催した会議

(1) 定時社員総会

開催回数	1回	出席人数	13名
	(第66回)		

(2) 通常理事会

開催回数	2回	出席人数	31名
合計	3回		44名

2. 事業運営上開催した会議等

(1) 業務専門委員会、海務専門委員会、労務専門委員会の各委員会は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み開催はせず、書面による報告各2回を行った。機関誌編集委員会については議案書を各委員に配布するにとどめた。

(2) 各委員会小委員会

船員採用問題等検討委員会	開催回数	1回	出席人数	16名
同 広報ワーキング	開催回数	1回	出席人数	12名
同 図書ワーキング	開催回数	6回	出席人数	50名
合計	8回			78名

3. 事業実施概要

業務、海務及び労務の3専門委員会等を中心に、次のとおり事業活動を推進した。

(1) 専門委員会活動

① 業務専門委員会

通常、委員会において報告している以下の資料を委員あて送付し、情報の共

有を図った。

- 1) 港湾タグ事業にかかわる課題について
- 2) 曳船燃料油価格調査の集計について
- 3) 船員採用問題等検討委員会について

協会ホームページのリニューアル、リクルート応援サイトの開設及び求人活動に資するポスター及び小冊子「タグという選択」を作成し、会員及び船員養成施設等に送付した。

また、タグ事業の一般への広報活動の一環として、成山堂書店より「タグボートのしごと（仮称）」の出版を企画し、現在最終校正を行っており、4月発行の予定である。

② 海務専門委員会

通常、委員会において報告している以下の資料を委員あて送付し、情報の共有を図った。

- 1) ヒヤリハット事例について
- 2) タグ乗組員の教育研修について
今年度は全て取りやめとなりましたので、資料はありません。
- 3) 港湾タグボート専用係留基地の確保と整備に関する要望について

③ 労務専門委員会

通常、委員会において報告している以下の資料を委員あて送付し、情報の共有を図った。

- 1) 令和2年度臨手調査表
- 2) 令和2年度労働協約改定主要項目一覧表
- 3) 令和3年度労働協約改定について

(2) 教育・訓練活動

新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、技術研修会及び海技大学校に委託している研修会は開催しなかった。

(3) 調査・報告活動

① 各種調査

例年のとおり以下の調査を実施し、報告書にまとめ、関係専門委員及び会員に配布した。

「曳船燃料油価格調査」、「賃金調査」及び「臨時手当調査」

② 「会員・所属タグ一覧表」の作成・発行

令和3年1月1日現在の会員について、組織概要並びに所属タグの現況調査を実施し、同年1月に「会員・所属タグ一覧表」を作成・発行し、会員及び関係先に配布した。

③ 調査統計報告書の作成・発行

令和3年1月1日現在の会員の運航タグ及び船員関係調査等の集計に基づく、「会員所属タグ調査統計並びに全国港湾入港船舶数抽出値統計」の報告書を作成し、会員及び関係先に配布した。

④ 機関誌「ハーバータグ」等の発行

令和3年1月20日に第51号を発行し、会員及び関係先に配布した。また、令和2年7月、「タグ事業協会だより」をホームページに掲載した。

4. 会員数

令和2年4月1日における会員数

特別会員	11名	正会員	88名	計99名
------	-----	-----	-----	------

令和3年3月31日における会員数

特別会員	10名	正会員	88名	計98名
------	-----	-----	-----	------

5. 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はないので附属明細書は作成しない。

以上